

## 「世界農業遺産」認定に係る認知度についてのアンケート結果

本県では、滋賀の風土と歴史の中で生み出されてきた「琵琶湖と共生する農林水産業」を世界に誇る「琵琶湖システム」として発信しており、令和4年7月に「世界農業遺産」として認定されました。

このたび、こうした滋賀ならではの農林水産業の営みや環境配慮の取組についてアンケートを実施しました。

★調査時期：令和5年12月

★対象者：県政モニター294人

★回答数：248人(回収率84.4%)

★担当課：農政水産部 農政課

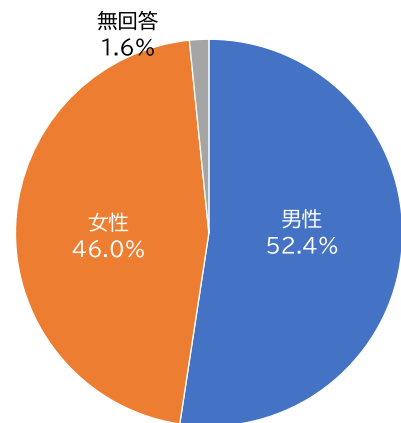
※四捨五入により割合の合計が100.0%にならない場合があります。

### 【属性】

#### ◆性別

項目	人数(人)	割合(%)
男性	130	52.4%
女性	114	46.0%
無回答	4	1.6%
合計	248	100%

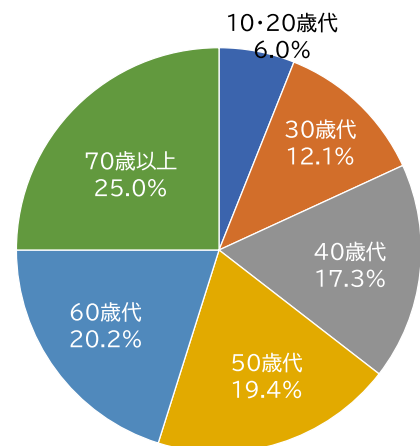
### 【性別】



#### ◆年代

項目	人数(人)	割合(%)
10・20歳代	15	6.0%
30歳代	30	12.1%
40歳代	43	17.3%
50歳代	48	19.4%
60歳代	50	20.2%
70歳以上	62	25.0%
合計	248	100%

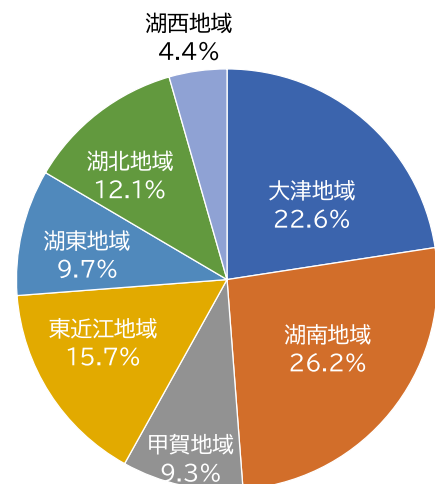
### 【年代】



#### ◆地域

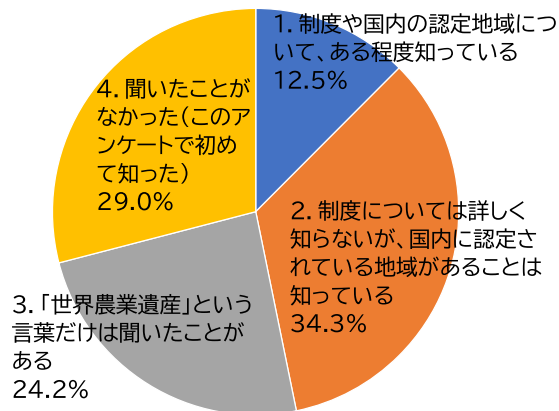
項目	人数(人)	割合(%)
大津地域	56	22.6%
湖南地域	65	26.2%
甲賀地域	23	9.3%
東近江地域	39	15.7%
湖東地域	24	9.7%
湖北地域	30	12.1%
湖西地域	11	4.4%
合計	248	100%

### 【地域】



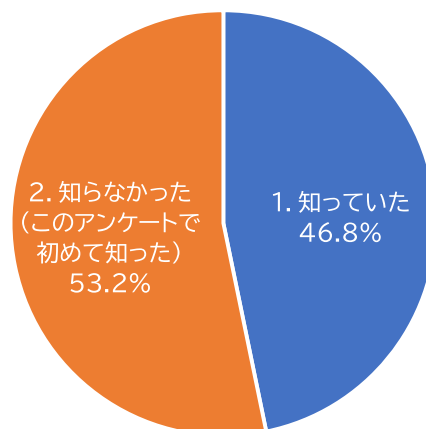
問 1 「世界農業遺産」の制度や認定地域を知っていますか。(回答チェックは1つだけ n=248)

項目	人数 (人)	割合 (%)
1. 制度や国内の認定地域について、ある程度知っている	31	12.5%
2. 制度については詳しく知らないが、国内に認定されている地域があることは知っている	85	34.3%
3. 「世界農業遺産」という言葉だけは聞いたことがある	60	24.2%
4. 聞いたことがなかった(このアンケートで初めて知った)	72	29.0%
合計	248	100%



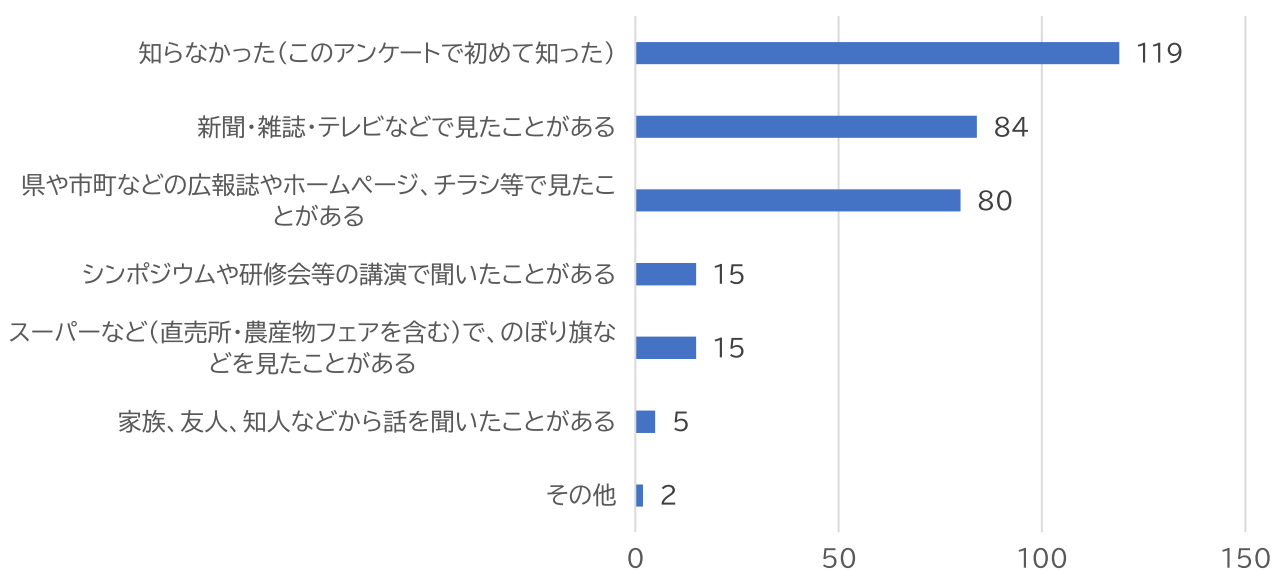
問 2 「琵琶湖システム」が世界農業遺産に認定されたことを知っていますか。(回答チェックは1つだけ n=248)

項目	人数 (人)	割合 (%)
1. 知っていた	116	46.8%
2. 知らなかった(このアンケートで初めて知った)	132	53.2%
合計	248	100%



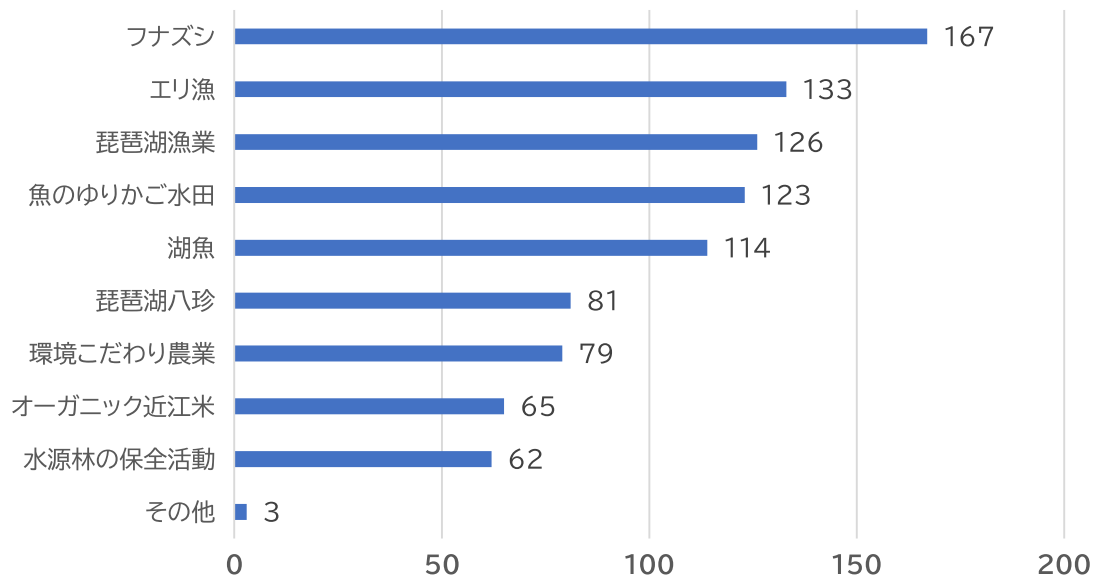
問3 「琵琶湖システム」の「世界農業遺産」認定を何で知りましたか。(回答チェックはいくつでも n=248)

項目	人数(人)	割合(%)
知らなかった(このアンケートで初めて知った)	119	48.0%
新聞・雑誌・テレビなどで見たことがある	84	33.9%
県や市町などの広報誌やホームページ、チラシなどで見たことがある	80	32.3%
シンポジウムや研修会等の講演で聞いたことがある	15	6.0%
スーパーなど(直売所・農産物フェアを含む)で、のぼり旗などを見たことがある	15	6.0%
家族、友人、知人などから話を聞いたことがある	5	2.0%
その他	2	0.8%



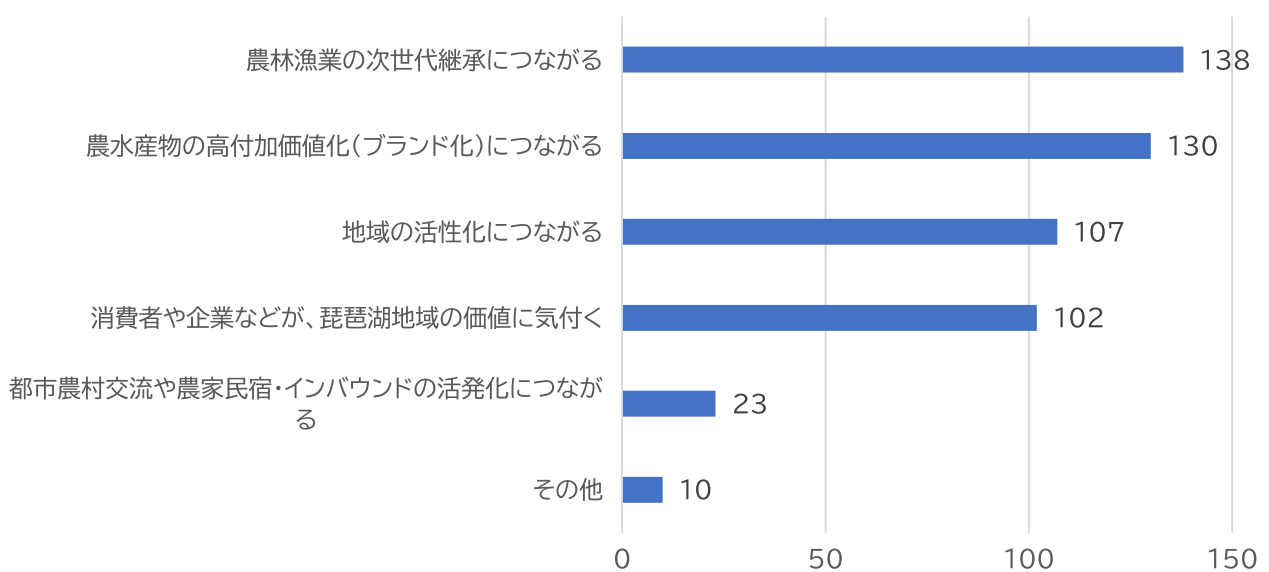
問4 「琵琶湖システム」の中で知っているものを選んでください。(回答チェックはいくつでも n=248)

項目	人数(人)	割合(%)
フナズシ	167	67.3%
エリ漁	133	53.6%
琵琶湖漁業	126	50.8%
魚のゆりかご水田	123	49.6%
湖魚	114	46.0%
琵琶湖八珍	81	32.7%
環境こだわり農業	79	31.9%
オーガニック近江米	65	26.2%
水源林の保全活動	62	25.0%
その他	3	1.2%



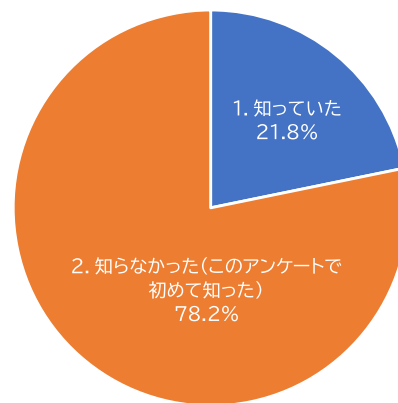
問5 「世界農業遺産」認定はどのような効果があると思いますか。(回答チェックは3つまで n=248)

項目	人数(人)	割合(%)
農林漁業の次世代継承につながる	138	55.6%
農水産物の高付加価値化(ブランド化)につながる	130	52.4%
地域の活性化につながる	107	43.1%
消費者や企業などが、琵琶湖地域の価値に気付く	102	41.1%
都市農村交流や農家民宿・インバウンドの活発化につながる	23	9.3%
その他	10	4.0%



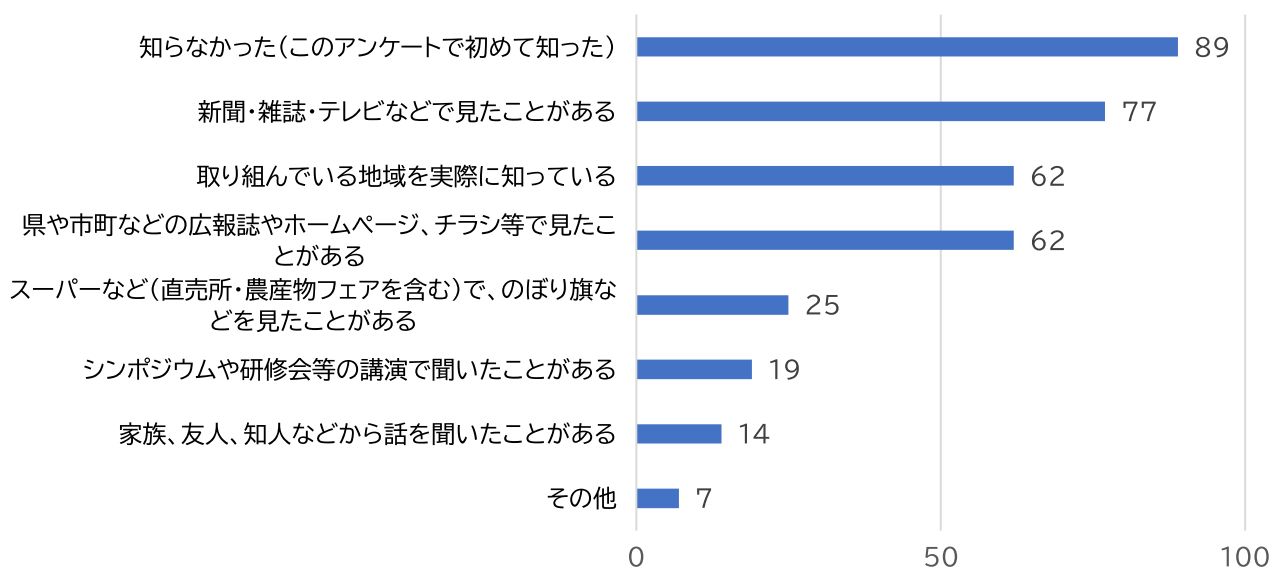
問6 「琵琶湖システム」のロゴマークを知っていますか。(回答チェックは1つだけ n=248)

項目	人数(人)	割合(%)
1. 知っていた	54	21.8%
2. 知らなかった(このアンケートで初めて知った)	194	78.2%
合計	248	100%



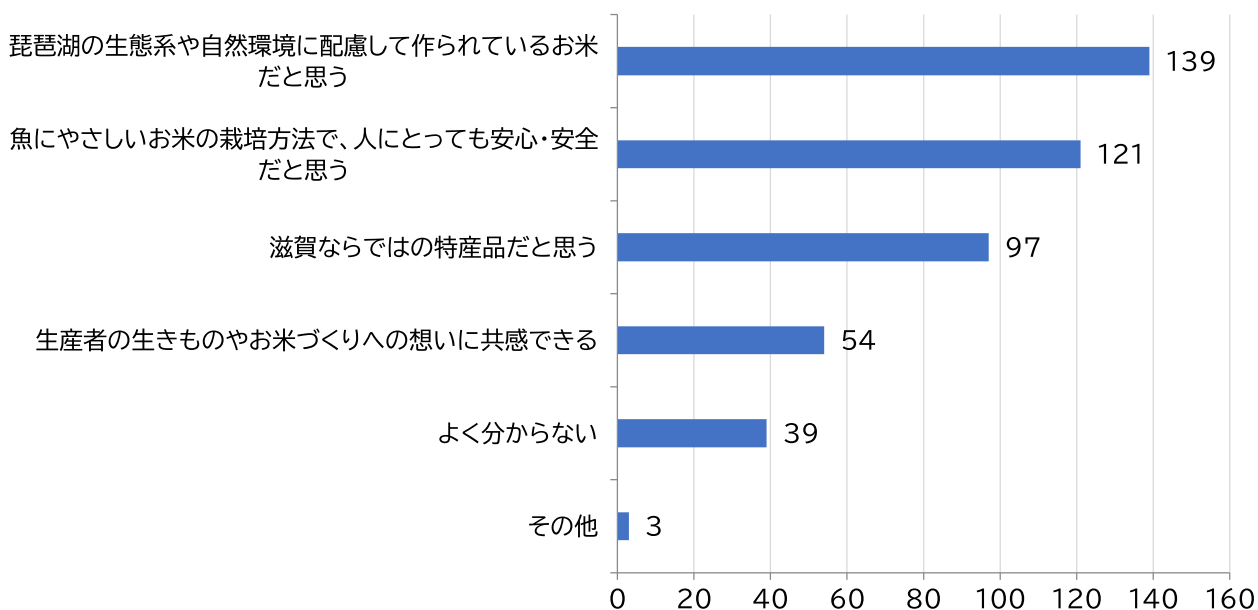
問7 「魚のゆりかご水田」について知っていますか。(回答チェックはいくつでも n=248)

項目	人数(人)	割合(%)
知らなかった(このアンケートで初めて知った)	89	35.9%
新聞・雑誌・テレビなどで見たことがある	77	31.0%
取り組んでいる地域を実際に知っている	62	25.0%
県や市町などの広報誌やホームページ、チラシなどで見たことがある	62	25.0%
スーパーなど(直売所・農産物フェアを含む)で、のぼり旗などを見たことがある	25	10.1%
シンポジウムや研修会等の講演で聞いたことがある	19	7.7%
家族、友人、知人などから話を聞いたことがある	14	5.6%
その他	7	2.8%



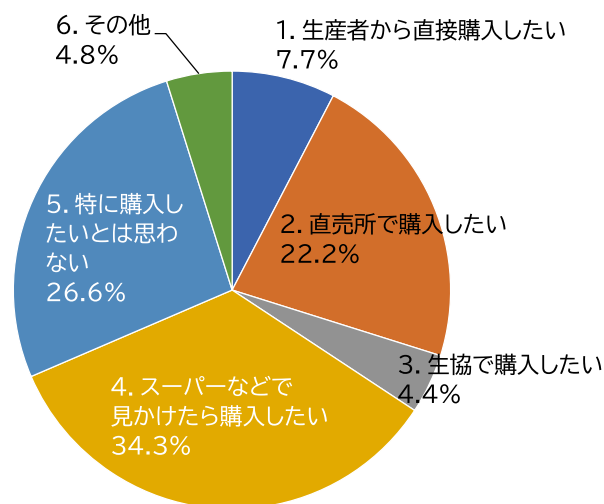
問8 「魚のゆりかご水田」のイメージはどのようなものですか。(回答チェックは3つまで n=248)

項目	人数(人)	割合(%)
琵琶湖の生態系や自然環境に配慮して作られているお米だと思う	139	56.0%
魚にやさしいお米の栽培方法で、人にとっても安心・安全だと思う	121	48.8%
滋賀ならではの特産品だと思う	97	39.1%
生産者の生きものやお米づくりへの想いに共感できる	54	21.8%
よく分からない	39	15.7%
その他	3	1.2%



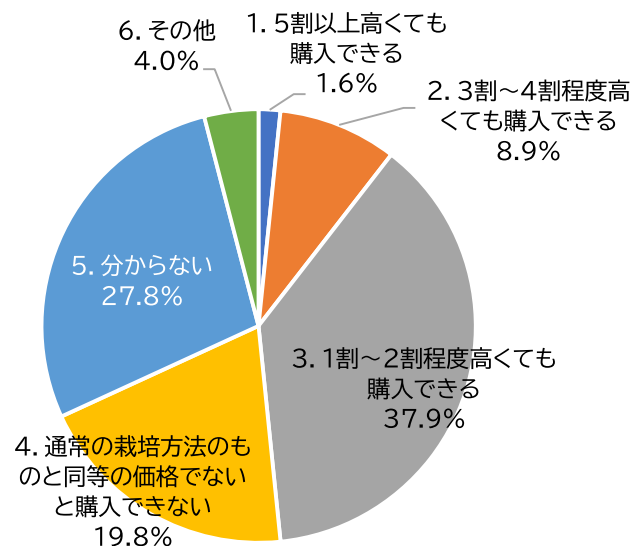
問9 「魚のゆりかご水田米」の購入についてどう思いますか。(回答チェックは1つだけ n=248)

項目	人数(人)	割合(%)
1. 生産者から直接購入(インターネットの活用や地域で開催されるイベントへの参加等)したい	19	7.7%
2. 直売所で購入したい	55	22.2%
3. 生協で購入したい	11	4.4%
4. スーパーなどで見かけたら購入したい	85	34.3%
5. 特に購入したいとは思わない	66	26.6%
6. その他	12	4.8%
合計	248	100%



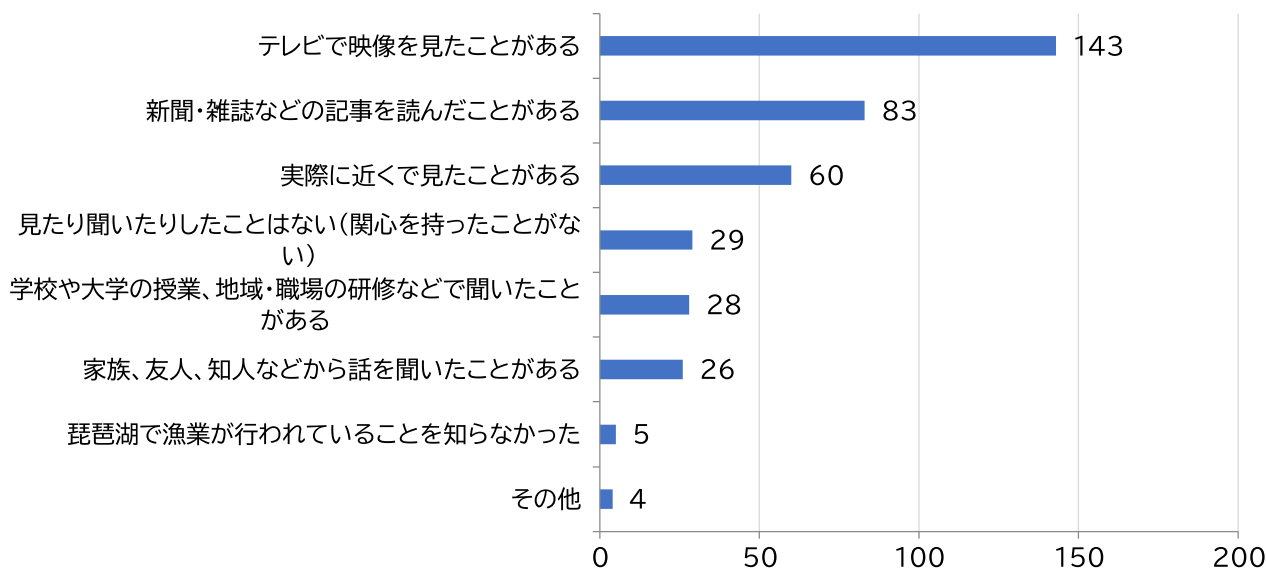
問 10 「魚のゆりかご水田米」の価格についてどう思いますか。(回答チェックは1つだけ n=248)

項目	人数 (人)	割合 (%)
1. 取組が理解できるので、5割以上高くても購入できる	4	1.6%
2. 取組が理解できるので、3割～4割程度高くても購入できる	22	8.9%
3. 取組が理解できるので、1割～2割程度高くても購入できる	94	37.9%
4. 通常の栽培方法のものと同等の価格でないと購入できない	49	19.8%
5. 分からない	69	27.8%
6. その他	10	4.0%
合計	248	100%



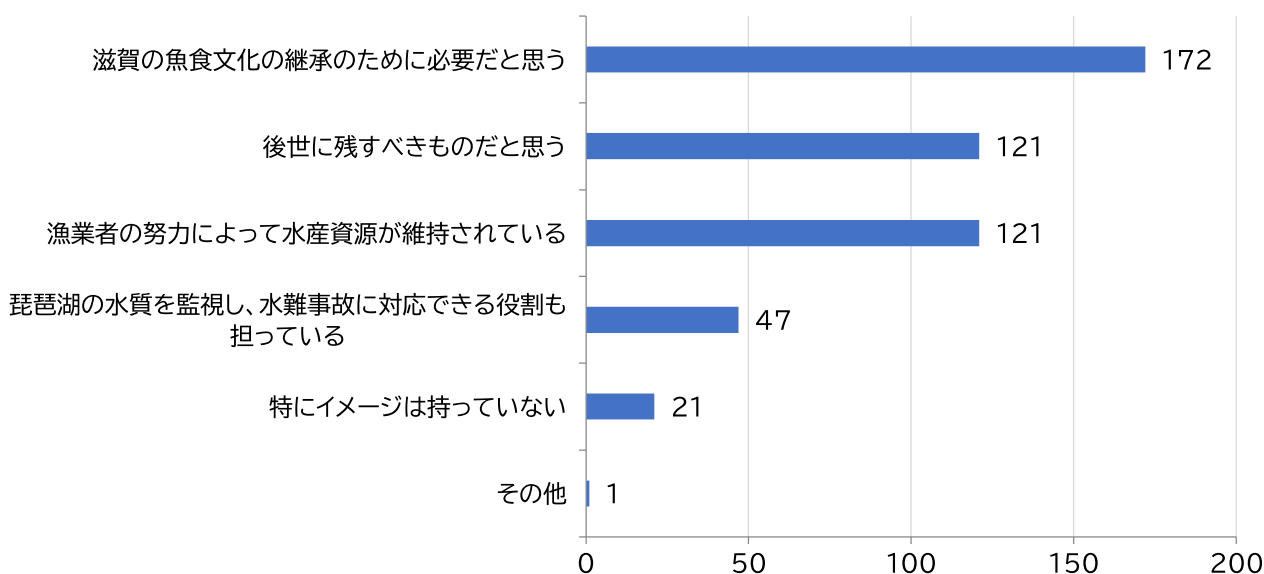
問 11 琵琶湖漁業について、見聞きしたことがありますか。(回答チェックはいくつでも n=248)

項目	人数(人)	割合(%)
テレビで映像を見たことがある	143	57.7%
新聞・雑誌などの記事を読んだことがある	83	33.5%
実際に近くで見たことがある	60	24.2%
見たり聞いたりしたことはない(関心を持ったことがない)	29	11.7%
学校や大学の授業、地域・職場の研修などで聞いたことがある	28	11.3%
家族、友人、知人などから話を聞いたことがある	26	10.5%
琵琶湖で漁業が行われていることを知らなかった	5	2.0%
その他	4	1.6%



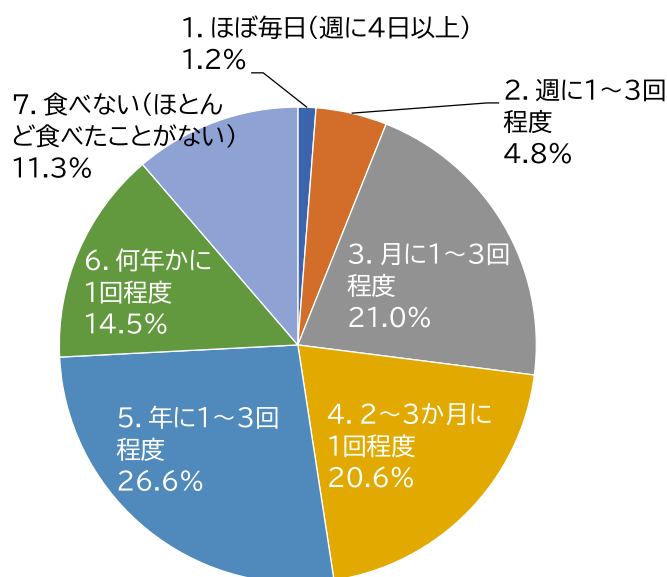
問 12 琵琶湖漁業のイメージはどのようなものですか。(回答チェックは3つまで n=248)

項目	人数(人)	割合(%)
滋賀の魚食文化の継承のために必要だと思う	172	69.4%
後世に残すべきものだと思う	121	48.8%
漁業者の努力によって水産資源が維持されている	121	48.8%
琵琶湖の水質を監視し、水難事故に対応できる役割も担っている	47	19.0%
特にイメージは持っていない	21	8.5%
その他	1	0.4%



問 13 どれくらいの頻度で琵琶湖の水産物を食べますか。(回答チェックは1つだけ n=248)

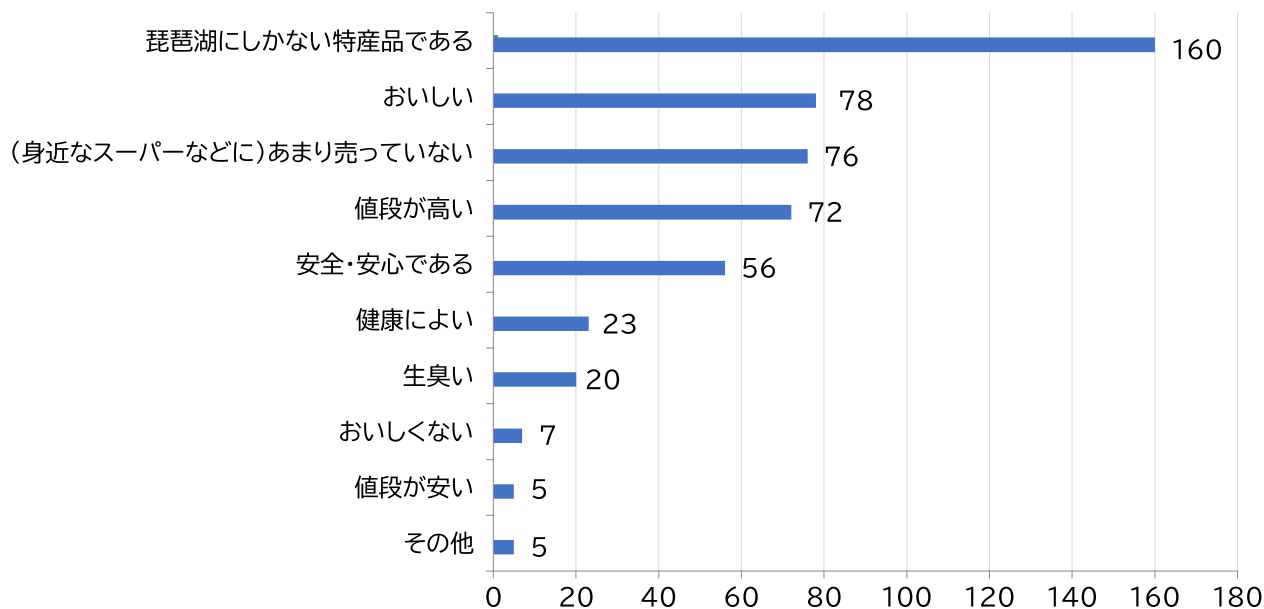
項目	人数(人)	割合(%)
1. ほぼ毎日(週に4日以上)	3	1.2%
2. 週に1~3回程度	12	4.8%
3. 月に1~3回程度	52	21.0%
4. 2~3か月に1回程度	51	20.6%
5. 年に1~3回程度	66	26.6%
6. 何年かに1回程度	36	14.5%
7. 食べない(ほとんど食べたことがない)	28	11.3%
合計	248	100.0%





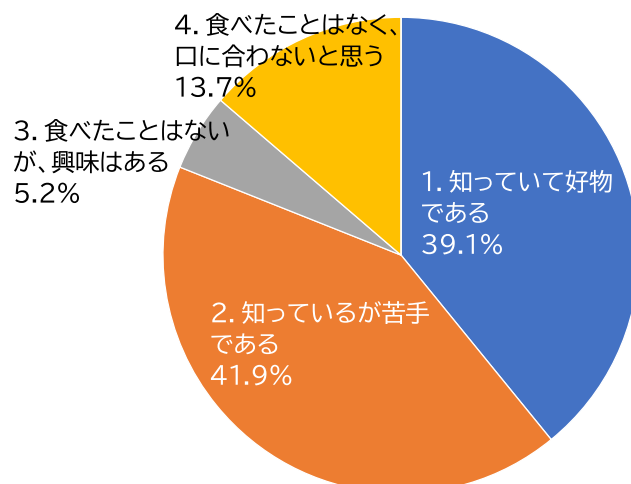
問 14 「琵琶湖の水産物」のイメージはどのようなものですか。(回答チェックは3つまで n=248)

項目	人数(人)	割合(%)
琵琶湖にしかない特産品である	160	64.5%
おいしい	78	31.5%
(身近なスーパーなどに)あまり売っていない	76	30.6%
値段が高い	72	29.0%
安全・安心である	56	22.6%
健康によい	23	9.3%
生臭い	20	8.1%
おいしくない	7	2.8%
値段が安い	5	2.0%
その他	5	2.0%



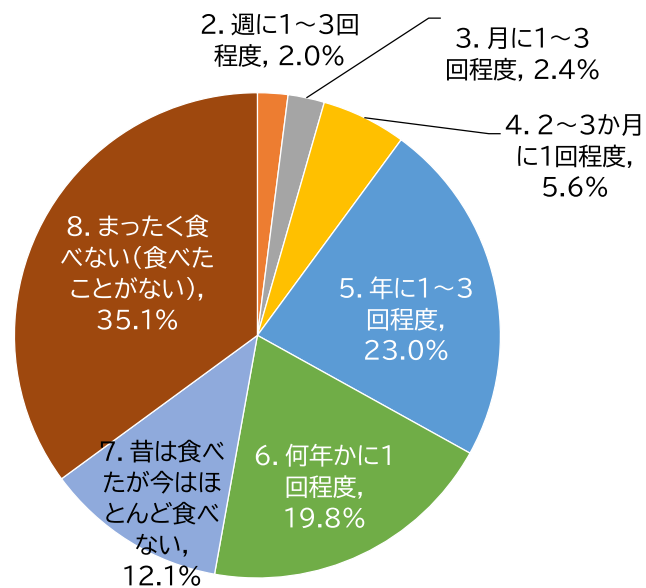
問 15 滋賀県の伝統食「ふなずし」を知っていますか。(回答チェックは1つだけ n=248)

項目	人数(人)	割合(%)
1. 知っていて好物である	97	39.1%
2. 知っているが苦手である	104	41.9%
3. 食べたことはないが、興味はある(食べてみたい)	13	5.2%
4. 食べたことはなく、口に合わないと思う(食べたくない)	34	13.7%
5. 「ふなずし」について全く知らなかった(このアンケートで初めて知った)	0	0.0%
合計	248	100%



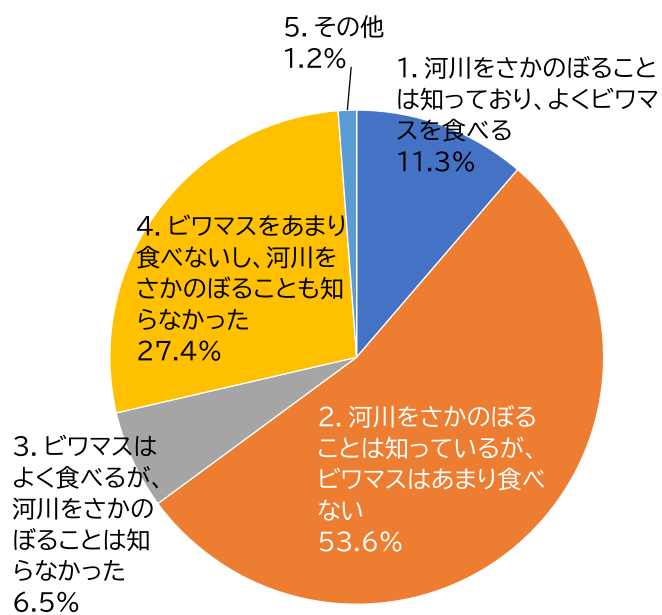
問 16 どれくらいの頻度で「なれずし」を食べますか。(回答チェックは1つだけ n=248)

項目	人数 (人)	割合 (%)
1. ほぼ毎日(週に4日以上)	0	0.0%
2. 週に1~3回程度	5	2.0%
3. 月に1~3回程度	6	2.4%
4. 2~3か月に1回程度	14	5.6%
5. 年に1~3回程度	57	23.0%
6. 何年かに1回程度	49	19.8%
7. 昔は食べたが今はほとんど食べない	30	12.1%
8. まったく食べない(食べたことがない)	87	35.1%
合計	248	100%



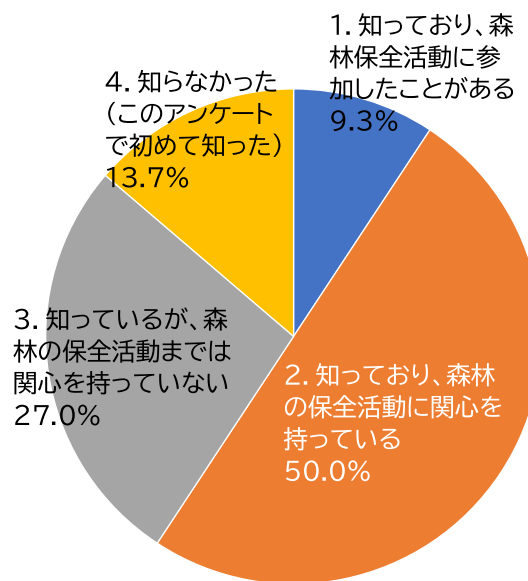
問 17 ビワマスの遡上について、知っていますか。(回答チェックは1つだけ n=248)

項目	人数 (人)	割合 (%)
1. 河川をさかのぼることは知っており、よくビワマスを食べる	28	11.3%
2. 河川をさかのぼることは知っているが、ビワマスはあまり食べない(食べたことがない)	133	53.6%
3. ビワマスはよく食べるが、河川をさかのぼることは知らなかった	16	6.5%
4. ビワマスをあまり食べない(食べたことがない)し、河川をさかのぼることも知らなかった	68	27.4%
5. その他	3	1.2%
合計	248	100%



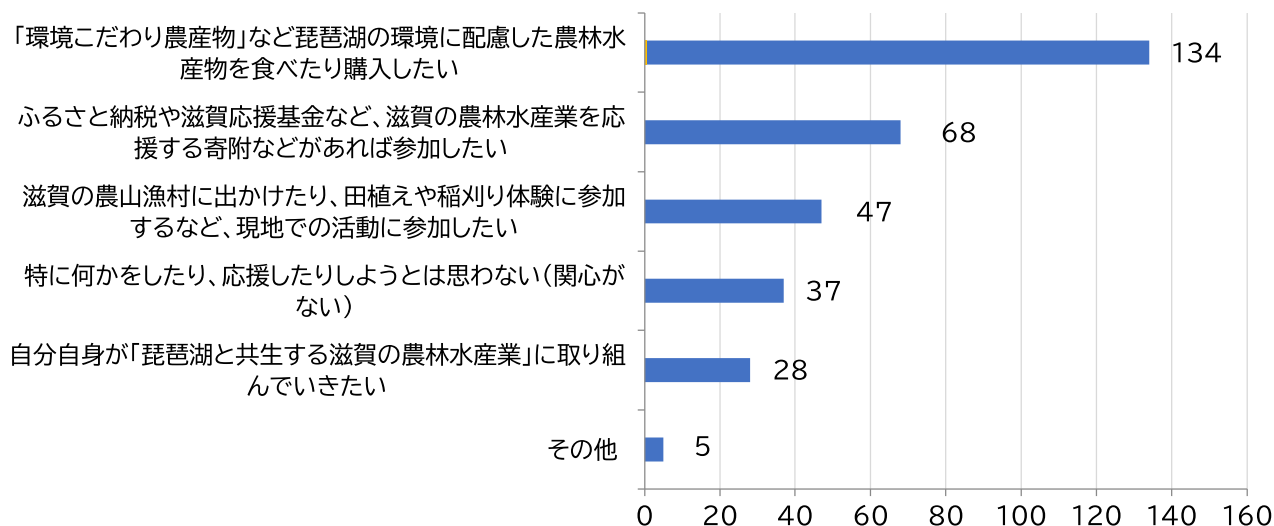
問 18 森林が持つ機能や森林保全活動について知っていますか。(回答チェックは1つだけ n=248)

項目	人数 (人)	割合 (%)
1. 知っており、森林保全活動に参加したことがある	23	9.3%
2. 知っており、森林の保全活動に関心を持っている	124	50.0%
3. 知っているが、森林の保全活動までは関心を持っていない	67	27.0%
4. 知らなかった(このアンケートで初めて知った)	34	13.7%
合計	248	100%



問 19 どのように「琵琶湖システム」に関わりたいと思いますか。(回答チェックはいくつでも n=248)

項目	人数(人)	割合(%)
「環境こだわり農産物」など琵琶湖の環境に配慮した農林水産物を食べたり購入したい	134	54.0%
ふるさと納税や滋賀応援基金など、滋賀の農林水産業を応援する寄附などがあれば参加したい	68	27.4%
滋賀の農山漁村に出かけたり、田植えや稲刈り体験に参加するなど、現地での活動に参加したい	47	19.0%
特に何かをしたり、応援したりしようとは思わない(関心がない)	37	14.9%
自分自身が「琵琶湖と共生する滋賀の農林水産業」に取り組んでいきたい	28	11.3%
その他	5	2.0%



問 20 その他、「琵琶湖システム」についてご意見や応援のメッセージがありましたらお聞かせください。(任意)(一部抜粋)

- ・琵琶湖周辺の宅地が進む地域もあれば、保全を重視する地域もあり、取り組み方に統一性がないように感じます。
- ・「琵琶湖システム」についての理解を、まず県民一人ひとりが深めていきながら、それぞれにアクションを起こしていくことが必要である。
- ・森林を保全することによって、ニジマスや鮎、ごりやハスなどが河川を遡上して生態をも保全できるが、ダムができてからは、河川に水が少なくなり、低水路に樹木が繁茂し、魚が遡上できないため魚が少なく遡上できる環境にない。森林、河川、琵琶湖を一体化した政策は重要と考える。
- ・子どもが以前、ゆりかご水田の田植えに参加して知りました。とてもよい試みで理にかなった方法なので、ずっと残してほしいと思いました。
- ・鮎ずしは、滋賀のものとして認識されているが、他のものでびわ湖や滋賀のものとしてブランド化が進んでいない。特に鮎に関して琵琶湖では稚魚であり他のものと違うので、ブランド化できる名前(例えば関サバのように)を付けたらどうか？
- ・「びわ湖の日」も琵琶湖システムを身近に感じる機会になる。琵琶湖だけに目が行きがちであるが、山、川、田園、都市も含めて生態系が一体となって人々の生活が成り立っている。その意味では、「びわ湖システムの日」に改称するのも一考かと思う。
- ・魚のゆりかご水田米等の環境に配慮した農業、漁業の存在は以前から知っていましたが、「琵琶湖システム」という言葉の登場によって、さらに広く意識されるようになったと思います。  
琵琶湖システムという言葉をよく聞くようになった一方で、言葉だけでは、どのようなものなのか想像しにくいのが難点だと思うので、解説も含めて多くの人の目に触れる機会が必要だと思います。
- ・世界遺産になった以上は、県民の全員が知らない人に魅力を伝えることができるレベルでの知識が必要だと思う。特に観光客に質問された場合、県民が答えられなければ、「滋賀県の人には世界的な遺産になっても興味ないんだ」と思われてしまう。  
そうならないためにも、小学校での教育やプロモーションに力を入れるべきだと考える。
- ・他県から滋賀県に移住してから近くの商店街で湖魚や近江の伝統野菜が手軽に入手できるようになり積極的に購入しています。  
特に湖魚の佃煮など保存がきくものは手土産として他県の知人友人に配り、微力ながら普及に努めています。  
県民として誇りに思い、生産者の方々に感謝して今後も応援していきたいです。
- ・えり漁はぜひ見学または体験してみたいですし、漁師さんのお話も聞きたいです。
- ・琵琶湖の漁業や、滋賀県の森林業に関わる人が少ないとテレビで見たように思います。  
息子は大学の授業の一環としてゆりかご水田の手伝いに行き、そうした活動に興味を持てたようでした。  
若い世代に琵琶湖システムに関わる経験が増えると良いと思います。
- ・このアンケートで知りましたが、町内の方もほとんど知らないのではと思います。せっかくのシステム、もっとアピールされると購買も増えてシステムの活気もでるのではと思いました。
- ・滋賀県の頑張りは感じるが 県内各自治体の施策での啓発・実施が弱い。もっとPRしてほしい。
- ・近江牛や近江米と同等に漁業も認知度をあげ応援していきたい
- ・琵琶湖博物館なども含めて、実際の水産業なども見学ができるようなツアーがあれば参加してみたい。  
小学生には「うみのこ」があるが、せっかく琵琶湖があるのにその体験 1 回だけではもったいないし、大人や県外の方にももっと体験できる場があったほうがよい。
- ・ぜひ買って応援したい気持ちはあるが、価格面から高いと躊躇してしまいます。試食などして納得できれば、できる限り応援はしたいと思っています。